

永 生 病 院 だ よ り

ゆらぬき

2012
vol. 26

- ▶ 理事長のあいさつ
- ▶ 第53回 全日本病院学会 沖縄大会
- ▶ 接遇トレーナー
雨宮 恵美先生をお招きして
- ▶ 健康ひろば「糖尿病の運動療法」
- ▶ ふれあいイベントのご案内
- ▶ 学習療法士1級を取得
- ▶ 文化祭
- ▶ 編集後記



病院理念

・信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

基本方針

- ・良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
- ・患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
- ・医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます



KEIRYOKAI

● 理事長のあいさつ

復興元年

2011年は東日本大震災、原発事故というとんでもない出来事が重なり、どう受け止めたらよいか悩む、とても重い年となりました。それをひきついで、2012年が明けましたが、まさに混沌とした年となりそうです。機能不全に陥っている政治、展望が見えない経済情勢がつづき、確固たる国家ビジョンがしめされない状況です。

某新聞のコラムに、それぞれの土地に伝わるお雑煮のことがとりあげられており、味噌仕立て、おすまし、鶏肉を入れる、野菜だけなど種々あって、その土地ならではのお雑煮を生む風土と暮らしが津々浦々にあった。しかし戦後の高度経済成長に伴って、そのような地方を踏み台にして、都市中心の繁栄を築いてきた、とありましたが、今回の福島原発事故を経験して、そのことが明白になったように思います。そして経済的繁栄や便利さを求めていくことが、必ずしも幸福になるということに繋がらないことも再確認されました。ここで過去の歴史を振り返って学ぶことも、これからの我々のあり方、目指す方向性を考える上で大切ではないかと思えます。

医療においても同じことがいえると思えます。OECD諸国中、対GDP費低い医療費でありながら、WHOの保健医療制度の各国比較で極めて高品質の

医療と評価されており、また、国民皆保険制度50年の歴史を英国医学雑誌「ランセット」で高く評価され、特集号が発行されています。このように日本の医療制度は、世界一の長寿国、世界一低い乳児死亡率を実現しています。

しかしながら、世界に先だって加速度的に少子高齢化が進んでおり、これまでと同じ制度下では維持できず、制度改革が必要となっています。日本独特の公平平等な、アクセスのよい良質な医療が保てる体制を堅持しつつ、改革が進んで行くことを期待しないではいられません。欧米諸国も、日本について少子高齢化が進行しており、今後の日本が歩いていく姿を注目しているようです。ぜひ、将来模範となれるような医療制度へと進化することを期待するとともに、その中に身を置く医療人として「長生きしてよかった」と思ってもらえるような医療サービスをめざして、努力していきたいと思えます。



理事長 森 伊津子

● 第53回 全日本病院学会 沖縄大会



平成23年10月29日、30日 沖縄大会に参加し、当院からは5演題(病棟看護師3名・理学療法士1名・管理栄養士1名)の発表をしました。

皆、院内での練習の成果が表れ、本番では落ち着いて発表することができました。今後は、学会で学んだことを業務に活かしていきたいと思えます。

〈 演 題 〉

- ①『ミキシング時における看護師の感染対策実態調査』
- ②『多職種連携により在宅復帰に至った一症例 ～退院調整フローチャートを活用して～』
- ③『拘束廃止への取り組み ～介護服の工夫を試みて～』
- ④『統一したADL訓練を目指して』
- ⑤『ソフト食への取り組み』

● 接遇トレーナー 雨宮 恵美先生をお招きして

12月22日 雨宮 恵美先生をお招きして第3回目の講演会を開催しました。

これからの医療に求められる接遇対応について、全職員を対象に講演をしていただきました。現場での視察の感想を交えながらの講演で、接遇改善の方法などを具体的に学ぶことができました。今後も職業人として成長するために、接遇改善に全職員一丸となって取り組んでいきます。





健康ひろば

第15回
テーマ

「糖尿病の運動療法」

■運動療法とは

運動療法は食事療法、薬物療法と並んで治療に効果的な手段です。運動には①血糖を下げインスリンの働きをよくする、②肥満の予防・改善、③合併症(動脈硬化等)の予防・改善、④体力を高め、生活の質を向上する、などの効果が期待できます。

■運動療法のすすめ方

- ①どんな運動がいいの？
歩行(散歩)などの有酸素運動で、「やや楽である」と感じる程度の運動の強さが良いでしょう。
※運動中の脈拍が1分間に100～(180-年齢)でおさまる範囲がよいとされています。
- ②どの程度やればいいのか？
1日に15～60分程度、食後1時間～1時間半以内で、週3～5回するのがベストな方法です。

1単位(80kcal)の運動の目安

歩行速度 60m/分	約25分
歩行速度 80m/分	約18分
ジョギング(軽い)	約10分
自転車平地 10km/時	約13分
草むしり	約24分
掃除(はく、ふく)	約20分
掃除(電気掃除機)	約27分
水泳(平泳ぎ)	約8分
ゴルフ(平均)	約16分



ふれあいイベントのご案内

糖尿病勉強会&調理実習

糖尿患者様およびご家族の方と一緒に、毎月1回、糖尿病についての勉強会を行っています。

その中では、実際に糖尿病食の調理を体験して頂き、実生活に役立つ献立や調理方法についてご紹介しています。

調理実習を行うことで、患者様同士のコミュニケーションが図られ、又、日頃疑問に思っている事についても気軽にご相談いただける雰囲気となっています。



開 時 場 講 義 内 容	催 担 当 者	日 間 所 者 容	毎月第4日曜日 10:00～12:30 永生病院内 通所介護 いこいの家 医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学作業療法士、管理栄養士 指導担当者の講義 調理実習の説明(切り方、調理方法、盛り付け方など) 調理実習(グループ制)・試食 栄養士によるポイント説明
材 参 加 方	料 方 法	費	500円(税込み)/指導料は別料金 参加ご希望の方は外来受付にお申し出ください。 ※ただし、当院の患者様に限らせていただきます。



